広報 みなみふらの

1

2020. JANUARY No.766

P 2	新年のごあいさつ
P 3	ファイターズの野球教室
P 4～5	住民集会
P 6～10	移動町長室
P 11	民生委員・児童委員
P 12～13	カメラレポート
P 14～15	新春特集
P 16	教育委員会通信
P 17	南富高新聞、学校だより
P 18	ほのお
P 19	子育て支援センター「ぷっこ」だより 保育所の元気な子どもたち
P 20	地域貢献活動、寄附・寄贈

カーリング体験（12月6日）

新春を迎えて

南富良野町長　池部　彰

令和二年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、5月には30年余り続きました平成の時代が終わり、元号が令和に変わり新たな天皇の即位や、日本全国で大きな大雨災害に見舞われるなど、時代変動と自然災害の脅威にさらされた年で、10月には社会保障の財源確保から消費税が増税され、町民の生活にも大きな影響を及ぼし兼ねなく、本町におきましても国の政策に伴い保育の無償化や、低所得者世帯の介護保険料の負担軽減、低所得者および子育て世帯向けプレミアム付商品券などの事業を実施してまいりました。

また、現在取り進めています道の駅「南ふらの」の再編整備については、昨年各町内会を通じてお知らせしました基本計画に基づき整備を進めるにあたり、道の駅全体の運営計画並びに基本設計の策定を進め、同時に国が進める地方創生や地域活性化の拠点の形成等を目指す「重点道の駅」についても、現在、国に応募している所であり、選定されますと施設整備に国から重点的な支援が可能となりますので、今後、基本設計の取りまとめと平行し取り組んでまいります。

次にＪＲ根室本線の災害復旧と路線維持については、ＪＲ北海道の基本方針である「鉄道よりも便利で効率的な他の交通手段への転換」が一段と進んでいるなか、本町は北海道がまとめる国への提言内容や法改正後の国の支援策の枠組みなど、今後の諸情勢を見極めるなか、町民皆さまの足をどのように守っていくかという視点に立ち対応してまいります。

本町の基幹産業である農業振興については、平成28年の台風により被災した農地の営農復旧に向け、詳細なデーターの聞き取り調査等を行い、北海道と協議し農地の基盤整備に取り組んでいるほか、金山・下金山地区では、農業の生産性の向上や農業基盤整備による地域活性化を目指す国営事業の実施に向け、現在、国の調査が行われており、引き続き関係機関と連携し事業の円滑な推進を図ってまいります。

続いて保健福祉事業ですが、各種健診・相談等により町民皆様の健康を守って行くほか、高齢者等が本町で安心して住み続けていただけるよう社会福祉協議会と連携を図り、各サービス等の充実や継続的事業の実施を図ってまいります。また、子育て支援事業ですが、昨年10月よりファミリーサポートセンター事業を実施し、子育て世代を地域の中で支え合う新たな支援策も行ってまいります。

終わりに、南富良野町第五次総合計画に掲げた「共に創る　笑顔で　生き活き　みなみふらの」のもと、町民皆様と意識を共有して南富良野町の更なる発展と歴史を刻むため、町職員一丸となり、本町のまちづくりに最大限の努力を傾注させていただくことを申し上げ、町民皆様のご健康とご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和二年　元旦

年頭にあたって

南富良野町議会議長　川村　勝彦

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、日ごろより議会活動に対し、温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は統一地方選挙の年であり、南富良野町議会においても、新人3名、現職5名が当選し、8名の議員体制で任期がスタートしました。町議会といたしましても町民皆様の多様なニーズに応えながら安心して住みやすいわが町のまちづくりのため議員活動を進めてますので一層のご協力をお願い申し上げます。

さて、昨年は平成から令和に元号が変わり、新元号に大きな希望を投影して未来に進んでいくという機運がございます。

一方では大きな気候変動が昨年も続き、北海道でも5月なのに39.5度を超える気温になり、わが町でも32.6度台になり私の人生の中でも初めての経験となりました。また、関東、東北では大規模な台風が連続して来襲して多大な被害が発生し、被害にあわれた皆様にはお見舞いを申し上げる次第であります。本町も平成28年の台風被害から復旧はしたものの、今後は強靭化に向けた工事は順次進められていくと関係機関から話しを受けておりますが、早急の対応を希望しております。

重ねてＪＲ問題でも速やかな復旧を望んでおりますが、未だその方向性はＪＲ側からは提示されるに至っておりません。昨年11月にＪＲ根室本線野花南付近での架道橋に重機が接触し一部が損壊した事故により、この影響を受けバスによる代行運行がされる結果となりました。ＪＲ根室本線東鹿越－新得間は依然として災害時の状況のままですので、町民の皆様の大切な交通手段であり、道東と道北をつなぐ要衝の区間であることからも、引き続き鉄路維持のため各関係機関に訴えて参ります。

道の駅再編整備計画につきましては、今年度まで商業施設等運営計画策定、建設および外構基本計画・測量・地質調査が実施され、令和二年度には実施計画が策定される予定であり、既存の民間事業者との連携を含め、できる限り機能を集中させ合理的な運営に向け町議会としても論議し提言を進めて取り組んで参ります。

少子高齢化に対応した住民福祉の充実をはかり、財政問題などを検討しながらより多くの皆様の付託に応えて参ります。また、議会改革の取り組みについては、昨年10月から議会報告会を金山地区から始めており、地域住民の皆様に報告をさせていただいております。議会として初めての取り組みで、行き届かない点もあろうかと思いますが、実りの多い取り組みになるよう、努めて参ります。

これからの新しい議会運営に対し、ご指導とご協力をいただきますようお願いを申し上げます。

終わりに、町民皆様のご健勝とご多幸、ご繁栄を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和二年　元旦

北海道日本ハムファイターズとの野球教室

北海道日本ハムファイターズと小中学生との「野球教室」が南富良野高等学校体育館で11月23日（土）に行われました。

17回目の開催となる今回は、北海道日本ハムファイターズの公文克彦選手と玉井大翔選手を招いて、町内の小中学生23名が参加して交流を深めました。

両選手がユニホーム姿で現れると、子どもたちの選手を見つめる目は一層輝きを増していました。

選手の紹介後、子どもたちと一緒にランニングやキャッチボール・捕球の仕方などの基礎練習を行いました。

投手と野手に分かれて行った練習では、ゴロやフライを取る練習や投球フォームをチェックしながら指導を行うなど、一人ひとりと話し合いながら楽しく時には真剣に行なわれました。

最後に、参加した子どもたちを代表し、南富良野中学校野球部（２年生）畠山健吾君から両選手に指導に対するお礼が述べられました。

野球教室終了後、選手のサイン会や記念撮影が行われ、両選手からサインをもらい握手をした子どもたちは、笑顔いっぱいで両選手に感謝を述べ、夢と希望が膨らんだ様子でした。

なお。野球教室に併せて行なう予定の記念植樹祭については、降雪のため中止になりましたが、後日ニトリ北海道応援基金助成金を活用し植樹をしました。

第42回南富良野町防犯と交通安全の住民集会

町交通安全協会（秋元忠会長）と町防犯協会（佐藤茂会長）では、犯罪や事故のない安全で安心な暮らしの実現のため、明るく住みやすい町づくりを、町民とともに連携を図りながら、防犯運動および交通安全運動の意識の高揚に努めることを目的に「南富良野町防犯と交通安全の住民集会」を毎年開催しています。

11月23日、保健福祉センターみなくるにおいて、町民の皆さん約140名が参加して開催されました。

集会では、町内の児童生徒から募集した防犯と交通安全の応募作品の中から、優秀賞に選ばれた児童生徒に表彰状および盾が授与され、作文の部で防犯作品優秀賞を受賞した南富良野小の大野由愛さんが「防犯対策の大切さ」と題した受賞作品を発表し、防犯を訴えました。

集会の終わりに町交通安全協会交通指導員川口琴美さんと南富良野町イメージキャラクター「南ちゃん」から大会宣言が提案され、安全・安心な地域社会の実現に向けて活動を展開することが確認されました。

その後、小橋亜樹さんの歌唱・トークショーが行われ、トークショーでは、面白く自伝が話されたり、北海道胆振東部地震後の被災地での、おじちゃんとの出会いのエピソードから、人との出会いの大切さなどが話されるほか、民謡で育んだ歌唱ステージにより、会場は大いに盛り上がりを見せていました。

防犯の作文を発表する大野由愛さん

町内小中高校からの応募作品は、防犯の部に標語67点、ポスター26点、作文6点、また、交通安全の部に標語91点、ポスター48点、作文8点の合わせて246点が寄せられました。

審査の結果、各部門の優秀賞に輝いた皆さんは次のとおりです。

■防犯作品優秀賞受賞者
◇標語の部
北嶋　千聖さん（南富小4年）
山野　姫愛さん（南富中2年）
◇ポスターの部
蛯名　優美さん（南富小5年）
新田　華美さん（南富中2年）
◇作文の部
大野　由愛さん（南富小5年）
■交通安全作品優秀賞受賞者
◇標語の部
齋藤　悠那さん（南富小3年）
猪口　紗希さん（南富中1年）
細井　淳司くん（南富高3年）
◇ポスターの部
蓬田　唯珠さん（南富小5年）
河原　朋夢くん（南富中1年）
◇作文の部
下茂　龍輝くん（南西小5年）

標語、ポスター優秀作品紹介

防犯標語の部 優秀賞作品

・不しん者に　会ったら鳴らす　防犯ブザー
南富良野小学校4年　北嶋　千聖さん

・犯罪を　未然に防ぐ　地域の絆
南富良野中学校2年　山野　姫愛さん

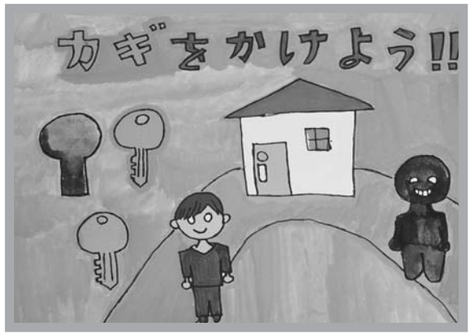
交通安全標語の部 優秀賞作品

・自転車は　手ばなし運転　きん止だよ
南富良野小学校3年　齋藤　悠那さん

・あなたの目　ちゃんと見ている？　赤信号
南富良野中学校1年　猪口　紗希さん

・そこの君　飲酒運転　ダメ絶対
南富良野高等学校3年　細井　淳司くん

防犯ポスターの部 優秀賞作品



南富良野小学校5年　蛯名　優美さん

南富良野中学校2年　新田　華美さん

交通安全ポスターの部 優秀賞作品

南富良野小学校5年　蓬田　唯珠さん

南富良野中学校1年　河原　朋夢くん

自治会活動推進条例に基づく「移動町長室」が11月18日の幾寅地区を皮切りに11月21日の落合地区まで、町内5地区の会場で開催され、77名の町民の皆さんが出席されました。

この移動町長室は、行政の執行状況などの報告や、まちづくりに対する住民の方々の意見や提言を直接お聞きする機会として、各地区の町内会や自治会の協力をいただき実施いたしました。

各会場では、最初に池部町長から本年度行政の執行状況として、平成28年の豪雨災害の復旧状況や高齢者福祉対策、子育て対策や農用地整備、林業施策など産業全般、町内商工業の振興、町民の生活支援事業、生活環境の向上、道の駅再開発構想、安心・安全なまちづくりの推進、ＪＲ問題などを説明しました。

また、教育委員会が行っている特色ある学校づくりや生徒確保に努めている南富良野高等学校の各種振興策といった、現在町が取り組んでいる主な事業について説明を行い、ご理解とご協力をお願いしました。

この後、懇談に入り、出席された皆さんからは、防災対策や生活環境の向上、ＪＲ問題など町の考え方や対応策などの意見交換を行いました。

これらの要望などについては、その緊急度や効果などを勘案し、財源の許す限り予算化に向けて努力してまいりますので、町民皆さんのご理解とご協力をお願いします。

本編では、移動町長室で皆さんからお伺いした意見・要望並びに町からの回答については要約し、掲載いたします。

また、他地区からいただいた同様の意見要望については紙面の都合上、まとめて掲載します。

◇各地区開催状況

地区名	開催日	出席者
幾　寅	11月18日	８名
金　山	11月19日	２５名
下金山	11月20日	２１名
北落合	11月21日	１０名
落　合	11月21日	１３名

幾寅地区

意見・要望

平成28年の豪雨被害により、幾寅地区のパークゴルフ場は仮設であるが建設の予定はないのか。

回答

何処かの時点で展開を検討していますが、町単独で整備するには財政的に厳しく、現在、国に災害により被害を受けた事を訴え、出来るだけ国の力を借りたく、そのやり取りに時間が掛かっており、その答えが解れば手法的な問題なので実施していきますので、お時間をいただきたい。

意見・要望

ＪＲ北海道のバス転換の方針を出している他路線の状況を見ると、次は根室本線もバス転換になるのではと心配になります。今般の情勢は厳しいと思いますが、何とか災害復旧、鉄路を維持してほしい。

回答

ＪＲ北海道については、災害復旧について消極的でありますが、根室本線は道東、道北、空知に繋がっている路線なので、本町だけの問題ではなく、本来、北海道が広域自治体として将来の鉄道網がどうあるべきかを示すべきですが、本町としましては、根室本線対策協議会構成自治体と連携を取るほか、北海道選出国会議員の方の力も借りながら、災害復旧・鉄路の維持を訴えてまいります。

意見・要望

ＪＲの運休により、幾寅方面からバスに乗り東鹿越駅でＪＲに乗り換えとなるが、東鹿越駅のホームが急勾配で高齢な方は苦労していると聞きますので、手摺りなどの設置はできないか。

回答

東鹿越駅のホームが急勾配である話は聞いており、手摺りの設置等をお願いしましたが、ホームの両サイドに路線があり、軌道があるため工作物の設置が出来ないとの話がありました。

しかし、簡易的な物や何か付けれるものはないか、再度要請をいたします。

意見・要望

国の低所得者向けプレミアム付商品券は、新聞報道等では申請者が少ないとなっていましたが、本町の状況はどうか、また、商工会のプレミアム付商品券についても教えてほしい。

回答

国の低所得者向けプレミアム付商品券の状況は、本町の対象世帯が５００世帯ほどあり、交付率については46％程度の申請で他の市町村より交付率が高い状況で、商工会のプレミアム付商品券は、今年度多くの人が利用可能となるよう限度額の見直しや燃料用商品券の制限も行いました。燃料用、エーコープ用商品券は直ちに完売し、その他の商品券も11月中には完売予定です。

金山地区

意見・要望

町の千里大学に通っていますが、デマンドバス等では時間が合わないので、千里大学が始まる前と後にはバスを運行していただけないか。

回答

千里大学の時間に合わせた運行が可能かどうか、地域の方のご意見をいただきながら検討し、来年4月からも千里大学に通えるよう幾寅地区以外の地区についても検討してまいります。

意見・要望

町は、人口が減少していく金山地区の将来をどう考え、5年・10年後の対策を考えているのですか。

回答

歴史から考えると国策として栄えてきた所が大きい本町で、日本全体が少子高齢化で人口が減少する中、災害にも見舞われ、鉄道も止まり、本町だけで人口を増やす政策が出来れば良いに越した事はないのですが、行政だけでは厳しく、小さい町ながら皆で知恵を出し合って頑張っていかなければと思います。ぜひ、金山民主会が手本となり、それぞれの地域でも自治会と行政が共に何か知恵を出し合っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

意見・要望

金山地区の避難所である金山地区コミュニティセンターは、平成28年の豪雨災害時にダムの放水の影響により恐怖などから、非常用発電施設が整備されている「和楽園」と大乗会の「ふくしあ」を利用したが、この施設については人が居住し、長期避難や使用がしずらく、旧小学校の体育館であれば街の中央にあり、非常用発電施設を整備していただければ、皆が利用し易く、廃校まで使用していたので、暖房やトイレも改修が小規模かと思うので、整備を考えて欲しい。

回答

幾寅地区の避難所であった保健福祉センターも豪雨災害時に被災し避難所の変更が余儀なくされたので、金山地区の状況についても理解できます。また、国の河川計画の変更により幾寅地区の空知川の目標流量が増量され、それだけダムからの放流をしなければならないかも知れなく、金山地区コミュニティセンターは今まで以上に水の恐れがあり、「和楽園」や大乗会の「ふくしあ」は居住者もいるとの事から、旧小学校体育館の整備も考えて行かなければと考えます。現在、非常用発電施設の整備計画は、今年は南富良野中学校、来年は南富良野小学校の整備が決まっていますので、それ以降の計画の検討として持ち帰らせていただきます。

意見・要望

地域では、町防災資機材の設置場所を解っているので、冬に停電等になった場合、避難所では町の職員が来るまで発電機等がなく暖房も使えない状況なので、町の指示前に自主的に町防災資機材等を使用させてほしい。

回答

行政だけでなく地域と一体になって行う事が地域防災だと思います。他の地域も合せて柔軟な対応を考えます。

意見・要望

防災の自主避難であれば、大乗会の「ふくしあ」も対応は可能です。

意見・要望

町道で防雪柵が無くホワイトアウトにより見えなくなる場所が何箇所あり、除雪車でもはまる位であり、除雪しても30分で天候状況が変わり道が塞がるので防雪柵の設置について検討は出来ないか。

回答

地域の状況に応じた除雪体制の確立を含め、地域で機動的な除雪をお願いしている所でありますが、天候の状況変化が激しい状況なので、防雪柵設置の試算をしましたが、メーター当たり10万円程度となり多額の事業費になるため、現在、東幾寅線の整備が行われている場で幾寅地区からも多数の利用者が訪れています。施設が20年以上経過し断熱効果も少なく、特にフロンガスの規制もあると聞いていますので、今後町としてどのように改修を進める予定なのか具体的に教えてほしい。また、新設する考えもあるのか併せて教えてください。

回答

新規に整備する案と今の施設を改修する案の2つを考えており、整備には多額の費用が掛かる事が予想されますので、財政的に可能であればすぐに答えを出して進めますが、現在、国の普通交付税の減額等や平成28年度におきました災害による災害復旧等で各計画事業も遅れていることから、現在計画されている大規模事業の道の駅構想計画の事業が終了次第、最優先課題事業として検討してまいります。当面の間は必要最小限の修繕に留めさせていただきます。

意見・要望

消費税増税等に伴う町外に通う高校生の交通費の助成についてもあり、JRの料金が大幅に値上げされ大変負担が掛かっています、町財政が厳しいのも理解していますが、未来を担う子どもが、自ら学ぶ場を選べる志を応援していただき、町外の学校に通う子ども達への交通費の助成を検討していただけないか。

回答

町としては、南富良野高校を存続させるという大きな課題として捕えて、1人でも多く入学してもらい定員を確保し、廃校にならないように助成を行って来ました。現在、中学校が1つになった事もあり、金山や下金山の子どもも南富良野高校に入学し、以前より多くの生徒となりました。

意見・要望

町道落合左岸上流線（落合スポーツランクスの横の道）の改修についてですが、平成28年の豪雨被害で河川の浸食により迂回路となっており、危険箇所には鉄パイプで防護柵を設置していますが、直線に改修する事は出来ないか、また、舗装には出来ないのかお聞きします。

回答

河川の浸食が道路と近い危険箇所について北海道と協議して人が近づかないように防護柵を設置し経過を確認していますが、今年に入り河川の浸食箇所の法面の上部に地割れ箇所が発見され、更なる経過確認が必要となりましたので、来年度は現在迂回している砂利道を砂利が飛び散らないようにする簡易的な舗装とさせていただき、将来的には直線に改修する事を考えていますので、ご理解をお願いします。

意見・要望

落合スポーツランクスの改修について、カーリング場は今では冬のスポーツ施設として、大人も子供も遊べる貴重な場所を聞いて看板を撤去いたします。

意見・要望

道路の話しですが、昔整備した道路は幅が狭く、夏場はコンバイン等の機械も入っていけない道路もあります。

回答

確かに昔農道で整備した道路は幅も狭く、今の大型機械には対応出来ない道路になっているのかも知れません。計画概要と財源確保について昨年度、北海道と協議を行ったところです。北落合の地区については道路も見直す時期に来ているのかも知れません。全ての道路を改良するなどは不可能な事ですが、今後色々と出来る事を検討していかなければと考えておりますので、ご理解をお願いします。

意見・要望

役場に手続きに行きましたが、職員の対応に不満がある。

回答

そんな事がある場合は、教えていただき不手際があれば、職員に指導してまいります。

意見・要望

町道の舗装が傷んでいる箇所があり、ダムの管理所と連携を図り対応してまいります。

意見・要望

中山間事業など各種事業で、役場の担当者が業務を慣れてきた頃に人事異動等で担当者が変わるので、仕事をしていただける人材を配置してほしい。

回答

適材適所という部分もありますが、役場の人事は職域が合っているからずっとその部署にいるという訳にもいかず、広く浅く経験を積み専門的な課長や管理職になります。役場職員も数に限りはありますが、一生懸命対応してまいりますのでよろしくお願いします。

北落合地区

意見・要望

町民体育館には、バスケットボールのフルコートがないので、何処かにバスケットボールのフルコートで使用できる場所はないか。

回答

町民体育館や各学校の体育館は、大きなバスケットゴールを耐震の関係で撤去し、フコートを使える体育館が現在ありません。バスケットゴールの安全等を確認するなど検討してまいります。

意見・要望

旧小学校の体育館の塗装等が大分剥がれている状況です。また、町は旧小学校と体育館を含め民間事業者に貸し出しをしていますが、たまたま用事があり中に入ると、建物内がホコリだらけであったり、夜遅くまで電気が着いている状況を見ますが、賃付料や電気代等の経費はどうなっているのか教えてほしい。

回答

経費については、基本的に全て事業者が負担していますが、賃付料については無償です。事業者で経費を持って自由に使ってもらい物作りのベンチャー企業を育てる考えでありますが、地域の皆さんに心配をかけないように、貸出を行っている事業者と使用方法などを相談しながら対処して行きます。また、体育館の塗装については、現在も使用をしていますので、何らかの対応を検討して行きます。

意見・要望

10月の本州で起きた台風災害の際、ダムの管理で放流判断を間違え、そのため大変な被害が起きた話しを聞いていますが、何時放流するかなど間違いがないように充分な対処をお願いしたい。

回答

本町の災害の際には、ダムの上流で起きたが、ダムの下流に住む人については、ダムの放流が一番安心できない状況であり、本州の災害等の報道を聞けばやはり本町のダム下流の皆さんは大変心配だと思いますので、ダム管理所と連携を図り対応してまいります。

意見・要望

中山間事業など各種事業で、役場の担当者が業務を慣れてきた頃に人事異動等で担当者が変わるので、仕事をしていただける人材を配置してほしい。

回答

適材適所という部分もありますが、役場の人事は職域が合っているからずっとその部署にいるという訳にもいかず、広く浅く経験を積み専門的な課長や管理職になります。役場職員も数に限りはありますが、一生懸命対応してまいりますのでよろしくお願いします。

北落合地区

意見・要望

町民体育館には、バスケットボールのフルコートがないので、何処かにバスケットボールのフルコートで使用できる場所はないか。

回答

町民体育館や各学校の体育館は、大きなバスケットゴールを耐震の関係で撤去し、フコートを使える体育館が現在ありません。バスケットゴールの安全等を確認するなど検討してまいります。

意見・要望

旧小学校の体育館の塗装等が大分剥がれている状況です。また、町は旧小学校と体育館を含め民間事業者に貸し出しをしていますが、たまたま用事があり中に入ると、建物内がホコリだらけであったり、夜遅くまで電気が着いている状況を見ますが、賃付料や電気代等の経費はどうなっているのか教えてほしい。

回答

経費については、基本的に全て事業者が負担していますが、賃付料については無償です。事業者で経費を持って自由に使ってもらい物作りのベンチャー企業を育てる考えでありますが、地域の皆さんに心配をかけないように、貸出を行っている事業者と使用方法などを相談しながら対処して行きます。また、体育館の塗装については、現在も使用をしていますので、何らかの対応を検討して行きます。

意見・要望

10月の本州で起きた台風災害の際、ダムの管理で放流判断を間違え、そのため大変な被害が起きた話しを聞いていますが、何時放流するかなど間違いがないように充分な対処をお願いしたい。

回答

本町の災害の際には、ダムの上流で起きたが、ダムの下流に住む人については、ダムの放流が一番安心できない状況であり、本州の災害等の報道を聞けばやはり本町のダム下流の皆さんは大変心配だと思いますので、ダム管理所と連携を図り対応してまいります。

意見・要望

中山間事業など各種事業で、役場の担当者が業務を慣れてきた頃に人事異動等で担当者が変わるので、仕事をしていただける人材を配置してほしい。

回答

適材適所という部分もありますが、役場の人事は職域が合っているからずっとその部署にいるという訳にもいかず、広く浅く経験を積み専門的な課長や管理職になります。役場職員も数に限りはありますが、一生懸命対応してまいりますのでよろしくお願いします。

北落合地区

意見・要望

町民体育館には、バスケットボールのフルコートがないので、何処かにバスケットボールのフルコートで使用できる場所はないか。

回答

町民体育館や各学校の体育館は、大きなバスケットゴール

意見・要望

町道落合左岸上流線（落合スポーツランクスの横の道）の改修についてですが、平成28年の豪雨被害で河川の浸食により迂回路となっており、危険箇所には鉄パイプで防護柵を設置していますが、直線に改修する事は出来ないか、また、舗装には出来ないのかお聞きします。

回答

河川の浸食が道路と近い危険箇所について北海道と協議して人が近づかないように防護柵を設置し経過を確認していますが、今年に入り河川の浸食箇所の法面の上部に地割れ箇所が発見され、更なる経過確認が必要となりましたので、来年度は現在迂回している砂利道を砂利が飛び散らないようにする簡易的な舗装とさせていただき、将来的には直線に改修する事を考えていますので、ご理解をお願いします。

意見・要望

落合スポーツランクスの改修について、カーリング場は今では冬のスポーツ施設として、大人も子供も遊べる貴重な場で幾寅地区からも多数の利用者が訪れています。施設が20年以上経過し断熱効果も少なく、特にフロンガスの規制もあると聞いていますので、今後町としてどのように改修を進める予定なのか具体的に教えてほしい。また、新設する考えもあるのか併せて教えてください。

回答

新規に整備する案と今の施設を改修する案の2つを考えており、整備には多額の費用が掛かる事が予想されますので、財政的に可能であればすぐに答えを出して進めますが、現在、国の普通交付税の減額等や平成28年度におきました災害による災害復旧等で各計画事業も遅れていることから、現在計画されている大規模事業の道の駅構想計画の事業が終了次第、最優先課題事業として検討してまいります。当面の間は必要最小限の修繕に留めさせていただきます。

意見・要望

消費税増税等に伴う町外に通う高校生の交通費の助成についてもあり、JRの料金が大幅に値上げされ大変負担が掛かっています、町財政が厳しいのも理解していますが、未来を担う子どもが、自ら学ぶ場を選べる志を応援していただき、町外の学校に通う子ども達への交通費の助成を検討していただけないか。

回答

町としては、南富良野高校を存続させるという大きな課題として捕えて、1人でも多く入学してもらい定員を確保し、廃校にならないように助成を行って来ました。現在、中学校が1つになった事もあり、金山や下金山の子どもも南富良野高校に入学し、以前より多くの生徒となりました。

町内に移住し、南富良野高校に通う子どもには制服の無料助成もあり、富良野高校に通う子どもは何も助成がない。昔もそうであったのかも知れないが、不満として感じるのも理解できます。

本当は南富良野高校に通う子どもだけでなく何処まで対応出来るのかも考えなければなりません。しかし、その時に出て来るのが旭川の高校に通っている子はどうするのか、生活費は出るのかなど、富良野の高校までは助成されるが旭川の高校は何も出ないのかという話しにもなりかねない部分が含んでいる。町は限られた予算の範囲内でやりくりをしていますが、消費税が増税される中、このような論議は必要だと思いますので、内部で検討し方向性を出していきたいと思います。

意見・要望

南富良野高校の存続は大変重要なポイントで、町立高校であらゆる特色を出し易く、動かし易い学校で、制服の助成や教科書の助成等ありますが、学校説明会でも保護者が通わせたい学校といわれていましたが、それが間違いで、南富良野高校は低費用、低学力、結局、学力の底上げをどう考えて行く事が必要になって来ると思うのですが、その最も重要な事は、町が一体どのような子ども達を育てていきたいかが結論になると思います。町が大きな目標、目的または夢、希望を持って子ども達をどう育てていきたいか、それに対してゴールである町内の小・中学校の子ども達が南富良野高校に行きたいと思う学校には、何に魅力を作るのかを考えて行かなければならないと思いますが、町の考えを教えてほしい。

回答

南富良野高校は、夜間学校として富良野高校の分校から始まり、地元の高校だから通いたいという想いから出来た高校であり、それと他所の町で小・中学校を通ったが、富良野等の高校に通うのは友達関係等でなじめない、いじめ、色々な問題を抱えた子ども達が現実におり南富良野高校に通って来ていますが、そのような生徒で南富良野高校を卒業した方が「南富良野高校に通ったことで本当の意味の友達もでき私の人生は変わりました。」と話していました。この話を聞いてやはり南富良野高校は素晴らしい学校であり、学力だとか何を求めるかは、親が求める事で、色々多種多様な子ども達がいるこの現実の中、町内の中学校からも以前より、多くの子ども達が入学しているという事を含めれば、南富良野高校の意味というのは、設立の時から永遠と続いていると思います。南富良野の子ども達が、他所の高校に通い南富良野高校が町立だから要らないねとなった時、それは自ずと廃校になるのだと思います。南富良野高校は小さいながらに学力だけでなく、人間として南富良野高校へ入りたいという子ども達もいると思いますし、地元南富良野高校だから入りたい、その子ども達の教育を見られるのが町立学校の良いところであると考えています。

意見・要望

南富良野高校カーリング部の長く指導していただいていた先生が、昨年度異動となり後任の先生も経験が浅く、現在カーリング部は、経験のある子ども達に頼っており、実際このような状況だとカーリング部も、良い成績も上げられなく子ども達も楽しく部活をする事が難しい状況で、町として今後指導者に対してどのような考えがあるのかお聞かせ願いたい。

回答

高校の場合何処かで人事が付き物で異動はあります。その後の体制については、高校とカーリング協会で協議いたしまして、カーリング協会事務局の方に高校のカーリング部の指導をしてもらう事で準備を進めております。引き続き次の大会でも好成績を上げられるよう良き指導者のもと頑張っていただきたい。

また、生徒同士で教え合うのは、絆が強くなったり良い所もあると思います。そのような形でカーリング協会や目黒さんにカーリングを習った子ども達など地域皆で支えあい競技の底上げを図っていただければと思います。

意見・要望

高校のカーリング部は、試合や遠征などに必ずコーチが必要であり、コーチも資格が必要となります。カーリング協会でもコーチの資格を持った人もいますが、大会や遠征で何日間もの随行になると、コーチを変わりながらの対応になる。また、具体的な話をすればカーリングの部活の時間は、協会員が自分の仕事を休んで指導に当たらなくてはならないが、そこまでしてカーリング部を存続させたいとの思いがあれば、協会員もやってもらえるかも知れないが、それをそのまま、ずっと頑張れといわれましても、長くする事は難しいと思いますので、将来的には学校で魅力的な先生を全道・全国から見つけ、部活動の顧問としてほしい。

回答

カヌー部のように南富良野高校カヌー部の卒業生が、教員免許を所得し現在南富良野高校の支援員として勤務しカヌー部の指導を行っております。カーリング部も同じように南富良野高校カーリング部の卒業生などを高校の支援員として、町が雇いカーリング部の指導に当てるなどすれば南富良野高校の魅力の一つになるのかも知れません。この様な事も考えて見ます。

まちの民生委員・児童委員を紹介します

民生委員・児童委員としてご活躍いただきました方々が11月30日をもって任期満了となり、11名全ての方々が引き続き、12月１日付けで厚生労働大臣および北海道知事から民生委員・児童委員として委嘱されました。

委員の方々には、子どもや家庭のこと、ボランティア活動に関すること、福祉に関する各種制度の連絡に関することなど、これから３年間、私たちの身近な相談役としてご活躍いただきます。お気軽にご相談ください。

田口 ひろ子
① 幾寅
② 東町
③ 52－2834

香川 瑛道
① 落合
② 落合全域
③ 53－2266

山西 春美
① 幾寅
② 住吉・仲町 農家地区
③ 52－2382

副会長
山内 茂樹
① 幾寅
② 西町・岐阜 東鹿越地区
③ 52－2854

会長
川井 稔
① 金山
② 金山全域
③ 54－2518

○協議会のプロフィール
役職
氏名（敬称略）
①住　所
②担当地区
③電話番号

主任児童委員
髙橋 紀代美
① 幾寅
② 町内全域
③ 52－2127

主任児童委員
佐藤 美奈子
① 幾寅
② 町内全域
③ 52－2365

大竹 一枝
① 北落合
② 北落合全域
③ 52－2708

種田 保子
① 下金山
② 下金山全域
③ 55－2235

山下 勝子
① 幾寅
② 朝日町･千木町
③ 52－2198

後藤 健壽
① 幾寅
② 栄町・内藤
③ 52－2245

中山間事情および直売所の視察

11月4日から7日まで、中山間地域等直接支払交付金下金山集落役員８名が参加し、先進地の視察研修が行なわれました。視察先については１年間を通して温暖な気候である九州北部の長崎県を中心に視察を行い、山と山の間に街があり、その傾斜を利用して畑を作付している九州の中山間地域の状況を把握するほか、直売所やレストランなどを手掛ける法人へ訪問しました。

訪れた11月の長崎市の気温は20℃前後で現在の作付はハウス栽培を中心にミニトマトが栽培され、作付けとしては、北海道とあまり変わりがなく、水田で平均１ｈａの面積で、北海道と比べると小さく、コンパクトな経営が見受けられ、そこには担い手不足も関連しており、中山間地域共通の課題となっています。続いて、大村市では農業生産法人夢ファームシュシュを訪れ、直売所と工房、レストランを展開している施設などの視察を行いました。施設では若い人が中心となり契約農家８戸から農産物を仕入れ販売するほか、レストランでも同様に若い人が中心に、年間10億円もの売上があり、雇用も若い人が集まり大卒者なども採用し、マーケティングといった専門的な知識も取り入れ、その成果が見える販売実績となり、結果、市も人口が増え、市や法人の将来性にも繋がると思えます。

視察を終え、本町の下金山地区にも直売所があることから、このような取り組みについて参考になる部分があると思います。また、北海道と作付けが似ているので、九州らしい農作物を南富良野町のブランド化に向け検討することも出来ると思います。

カメラレポート
CAMERA REPORT

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。
皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（☎52 - 2115）またはＥメール（koho@town.minamifurano.hokkaido.jp）までお知らせください。

地域食堂の開催（11月19日）

社会福祉協議会は認知症サポーターの会の協力のもと、金山・下金山地区の65歳以上で外出機会等が減っている高齢者の方々に声を掛け、金山地区コミュニティセンターで地域食堂を開催しました。参加された皆さんは、ペタンクやボーリングのスポーツのほか、会話をしながらの食事を楽しんだり、昼食後にはマジックショーを見て楽しい元気のでる１日となりました。
今年度、地域食堂は町内全地区を対象に開催され、高齢者の居場所作りや引きこもり対策などを目的に実施してきました。

下金山地域避難訓練の実施（11月23日）

下金山自治連合会では、災害を想定し避難訓練が実施されました。訓練は午後２時に下金山消防庁舎よりサイレンが鳴らされ、避難所の下金山地区多目的センターへ地域の皆さんが、いち早く避難する所から始まり、避難後は町の防災マネージャーより防災の心得として、自ら安全を守る「自助」、お互いに助け合う「共助」や避難生活についての講習が行われました。参加した皆さんは、真剣に訓練を取り組み有事の際の対応について学んでいました。

ボールに集中・熱気あふれる（12月１日）

町排球連盟が主催する第２回排球連盟杯町民ミニバレーボール大会が町民体育館で開催されました。
大会には、町内の各地区の愛好者や職場など12チーム85名が参加し、３つのブロックに分かれて予選リーグと各ブロック上位４チームによる決勝トーナメントが行われ、熱戦が繰り広げられました。
〇結果　優　勝　Pooh
　　準優勝　しもきんぼーるず
　　第３位　トモヒコヘッド

永年勤続民生委員児童委員表彰（12月6日）

永年に渡り、民生委員児童委員として地域の福祉向上にご尽力いただいている方々へ、その功績を讃え、大竹一枝さんに表彰状が授与されました。

地域の皆さんともちつき（12月７日）

南富良野西小学校と金山保育所による「もちつき集会」が、地域のお年寄りや保護者を招いて総勢86名で開催されました。
もちつき集会では、児童が田植えから収穫・脱穀の体験を通じてとれた「はくちょうもち米」を使い、児童全員と保育所の子ども達は地域の皆さんと共に餅つきを行いました。
ついた餅はきなこ餅やあんこ餅、お雑煮など児童が育てたもち米の味は格別だったようで、みんな笑顔で食べていました。

楽しみながら地域で交流（12月８日）

幾寅地区連合町内会主催の幾寅地区交流会が保健福祉センターみなくるで行われました。
交流会には、ジャンケンや輪投げ、ボールリレー、空き缶リレーなど、様々なゲームを通して交流を深めていました。また、交流会の最後にはビンゴゲームが行われ、大いに盛り上がりを見せていました。

カーリングを体験しよう（12月８日）

町子ども会育成連絡競技会は、スポーツ交流会としてカーリング体験を空知川スポーツリンクスで開催しました。
参加した子ども達には、ほとんどカーリングをした事がない子もいましたが、指導者からブラシを使ったスリープや目標にストーンを投げる練習を教わり、最後にはチームの子ども達と一緒に、楽しく試合形式の練習が出来るまで上達をしており、「また皆でカーリングをしたい」と話していました。

落合地区防災講習会の実施（12月13日）

地域住民の防災意識の高揚と地域の防災力の向上を図るため、落合地区で防災講習会を落合地区多目的センターで実施しました。訓練は、町の防災マネージャーより防災の心得として、自ら安全を守る「自助」、お互いに助け合う「共助」や避難生活についての講習や旭川地方気象台の防災気象官より気象情報の活用の仕方、冬季の気象特性についての講話等が行われました。
落合地区では、来年度雪が解けてから実践的な避難訓練を実施する予定となっていますので、ご参加ください。

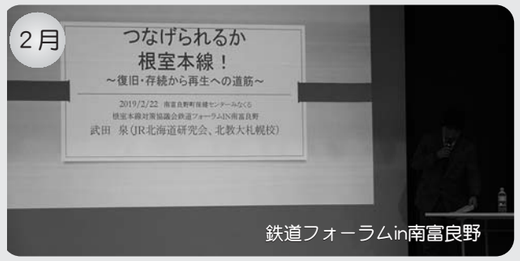
新春特集

「みなみふらの」の2019年を振り返って

町民の皆さん、あけましておめでとうございます。昨年は、皆さんのご家庭や職場では、どんな１年でしたでしょうか。新春特集として、昨年の主な出来事を振り返ってみました。

成人式

４日　消防出初式
７日　平成31年新年交礼会
13日　平成31年成人式
28日～２月１日　本部町交流団来町



鉄道フォーラムin南富良野

14日　南富良野高等学校女子カーリング部全国高等学校カーリング選手権大会で初優勝
11日　第38回かなやま湖畔ジュニアジャイアントスラローム競技大会
22日　鉄道フォーラムin南富良野

「絆」火文字

10日　氷点下まつりスキー場で火文字「絆」開催
27日　小川璃子さん全国高等学校少林寺拳法選抜大会女子団体で優勝
・各小学校・中学校・高校卒業式・保育所卒園式

南富良野町議会議員当選証書付与式

９日　林野火災予消防対策協議会開催
11日　千里大学始業式
16日　町議会議員選挙（無投票）
・各小学校・中学校・高校入学式・保育所入所式

イオン財団との植樹祭

１日　平成から令和に元号が変わり、新たな天皇が即位
15日　南富良野町にタンチョウ飛来
25日　イオン財団との植樹祭開催
・中学校体育祭・各地区、団体によるクリーン作戦

「RUN伴」で町内リレー

24日～28日　町内小学６年生が沖縄県本部町を訪問
29日　「RUN伴」で町内リレー
・各地区で運動会
・各地区で花いっぱい運動を展開

札幌交響楽団南富良野開催

７日　大乗会スポ・レク交流会
11日　札幌交響楽団南富良野開催
27日・28日　第48回かなやま湖太陽と森と湖の祭典

子ども七夕まつり

４日　小川璃子さん高校総体少林寺女子団体で優勝し春夏連覇
７日　子ども七夕まつり
30日・31日　町内各小・中学校「1日防災学校」開催

農作物作況調査

２日　農作物作況調査
３日　ツール・ド・北海道が南富良野町を駆け抜ける
７日　ふれあいフェスタ
28日　フォレストタウン記念植樹祭

国民体育大会カヌー少年男子スプリント

7日　南富良野高校 阿部弘豊くん国民体育大会カヌー少年男子スプリントで８位入賞
14日　かなやま湖マラソン大会
23日　台風第19号被災地へ職員派遣

日本ハムファイターズとの野球教室

１日　プレミアム付商品券販売
14日　敬老会
23日　防犯と交通安全の住民集会開催
23日　日本ハムファイターズとの野球教室開催

落合地区防災講習会

２日　町民ミニバレーボール大会
13日　落合地区防災講習会開催

今年は子年（ねずみ）

2020年は子年。十二支の１番目に数えられています。大正13年・昭和11年・昭和23年・昭和35年・昭和47年・昭和59年・平成８年・平成20年生まれの皆さんが子年です。

子年は十二支の中でも最初の年です。十二支を植物の一生と考えると、成長に向かって種子が膨らみ始める時期であり、未来への大いなる可能性を感じさせる意味があるそうです。また、ねずみは「ねずみ算」と言う言葉があるほど、子どもをどんどん生んで数を増やしていくことから「子孫繁栄」の象徴でもあります。

子年生まれの方の性格は、ねずみが「寝ず身」になるように、真面目にコツコツと働き、倹約家でもあるので、若いうちからお金もたまります。しかし、不要なものにはお金を使わないので、度を越すとケチとみられてしまうことも。勘が鋭く、ひらめきもあるので、それを活かすと難を逃れられます。

過去の子年　昭和23年：朝鮮民主主義人民共和国成立、昭和35年：日本でカラーテレビの本放送開始、昭和47年：札幌オリンピック開催、昭和59年：米アップルコンピュータがMacintoshを発表、平成８年：日本の原爆ドームが世界遺産に登録される、平成20年：アメリカの大手投資銀行リーマン・ブラザーズが経営破綻などあります。

教育委員会通信

学校教育係・生涯学習係
☎52-2145

令和2年度
千里大学入学生募集

ご自身の特性や経験、能力を活かして
仲間づくり、生きがい学習をしませんか？

●入学要件　町内に居住する60歳以上の方
※千里大学を卒業された方や卒業見込の方でも再入学が可能です。

●募集人員　20名

●履修年限　６年

●学習内容・形態　年間学習計画に基づき、講話・実技・演習・ボランティア活動・クラブ活動などの学習や活動を行います。

●場所・時間　場所：保健福祉センターみなくる　２階研修室
時間：毎月第2・４木曜日　ホームルーム９：30～　授業１校時　10：00～10：50
２校時　11：00～11：50

●学費　原則として無料です。ただし、授業内容に応じて教材費や校外研修費などは、その都度徴収します。その他、学生全員が千里大学自治会に属し、会費として年額6,000円を徴収します。

●登下校　北落合・落合・金山・下金山地区方面へは通学車両を運行します。
幾寅地区については、各人の責任で登下校願います。

●申込先　教育委員会生涯学習係あて電話などで申込みください。

●申込期限　令和２年３月16日（月）

授業の様子

令和元年12月27日発行　南富高新聞　第33号

南富高新聞

第33号
発行
南富良野高等学校

南富良野町教育研究会学力向上講習第Ⅱ期を実施

5月20日（南富良野小学校）・21日（南富良野西小学校）に開催された南富良野町教育研究会学力向上講習第Ⅰ期に続き、同講習第Ⅱ期が10月29日（南富良野中学校）・30日（南富良野高校）に開催されました。「主体的・対話的で深い学び」を実現する観点から、本校も、南富良野町小中高連携教育推進事業の一つである、この講習事業に今年度から参加しました。

アクティブ・ラーニング型授業においては、生徒同士が話し合う等の形式が多用されますが、そこで重要なことは、生徒が解決すべき学習課題について、類推したり分析したり総括したりするなど、自らの頭脳において思考することであると言われています。それを「仕掛ける」ためにより効果的な「学習過程」を構成することが教員には求められます。

埼玉県入間市より西留安雄氏を講師に迎え、本校の国語・数学・英語の授業を見学いただき、「南富良野町学習過程スタンダード」の視点から、授業改善に向けて教員が意識すべき重要な理念やさまざまな指導技法、例えば「振り返り」過程として、前時に学習した内容を生徒一人一人が小声でつぶやく「ブツブツ・タイム」やヒントやキーワードから解決手段を類推する「見通し」、「なぜ」「どうして」の思考を鍛える「問いかけ」、自らの考えを整理し他者に伝えて共有するために「小さなホワイトボードへ考えを書く」など、すぐに取り組み可能な手法を教示いただきました。

本校では、この講習事業に続き第二回授業公開週間・教科指導訪問などの授業研究を促進する行事が進められるなど、一年を通しての不断の授業改善へとつなげています。

シリーズ 学校だより ㉔㊹
各学校の取り組みを紹介します。

▶▶南富良野高等学校▶▶▶

南富良野高校はICTを活用したアクティブ・ラーニング型授業も多用

「南富良野高校のICTは全道において、おそらくトップクラスでしょう」と教育関係者から評されています。

ICT（情報通信技術）とは、パーソナル・コンピューターだけではなく、スマートフォンやスマート家電など、さまざまな形状のコンピューターを使った情報処理や情報技術の総称ですが、それらの機材を活用した授業がICT授業と呼ばれており、南富良野高校の普通教室には天井吊下げ型プロジェクターと電子ホワイトボードが常設され、全校生徒数分には届かないものの30台のタブレットが配備されているほか、情報処理室には、25台のデスクトップコンピューターを設置しています。

未曽有の自然現象や社会現象に立ち向かっていかなければならない、現代の児童・生徒には、「主体的・対話的で深い学び」が求められています。いかに入手しえた情報や知識を活用し、思考を活性化させ、一定の「正解」がないような課題について、それを解決する主体となって「暫定解」を導くトレーニングが、アクティブ・ラーニング型授業です。

生徒達は、情報や知識を素早く共有するためにプロジェクターで投映し、頭脳を活性化するために一定のルール下での対話を通してより深い理解と暫定解を求め、さらに情報を収集したり、思考の結果を表現したりするためにインターネットにつながったタブレットを使用しています（知識は教科書や教師の説明だけではなく、自主的なeーラーニングにより補強する時代が来ています）。南富良野高校では、このような授業スタイルに挑戦しています。

しょうぼう広報 ほのお

富良野消防署南富良野支署
☎52-2119　FAX52-2979
✉fs-nanpu@vesta.ocn.ne.jp
災害案内　☎52-3119

南富良野町の冬　そこには多くの危険が・・

新年あけましておめでとうございます。昨年は消防広報「ほのお」をご覧頂きありがとうございました。
本年も町民の皆様に役立つ情報を紹介していきますので、よろしくお願いします。
この時期は冬ならではの事故が増え、死者や負傷者が発生する恐れがあります。
冬季ではどのような災害が起こるのか今一度再確認し、危険から身を守りましょう。

除雪中の事故

- 屋根からの転落　・落雪の直撃
- 除雪機や除雪車に巻き込まれる事故
- 除雪作業中に心筋梗塞を発症

除雪中の事故対策

- 晴れの日の除雪は滑りやすいので要注意！！
- 疲れたら休憩しよう！！
- 除雪機の手入れ、点検はエンジンを必ず切る！！
- 屋根の雪下ろしは２人以上で行おう！！
- 除雪車には近寄らない！！

運転中・歩行中の事故　原因

- 路面凍結、特に日陰が危険
- 吹雪や大雪時の視界悪化
- 坂道、特に下りでの事故

運転中・歩行中の事故対策

〇運転時
- 「急ハンドル、急発進、急ブレーキ」の３Ｑをしない！！
- 交差点やトンネルの出入口は危険が多い！！
- カーブや下り走行時は前もって減速しよう！！

〇歩行時
- 歩幅小さく、走らない！！
- 靴は靴底の滑りにくいものを！！
- 防寒対策しっかりと！！

除雪関係における事故（５年）	事故者数	死　者	負傷者	負傷なし
平成30年(平成30年11月から平成31年３月)	102	11	87	4
平成29年(平成29年11月から平成30年３月)	126	22	104	0
平成28年(平成28年11月から平成29年３月)	76	17	59	0
平成27年(平成27年11月から平成28年３月)	94	16	78	0
平成26年(平成26年11月から平成27年３月)	82	16	66	0

屋根からの落氷雪・雪下ろし中の転落・除雪機に巻き込まれる

これらが主な原因となっています。左表のほか、転倒の事故も12月・１ 月の冬季に多く見られます。

※北海道警察資料

南富良野支署出動件数（平成31年１月～令和元年11月末現在）
救急出動　102件　（内ドクターヘリ要請件数16件）
火災出動　　５件　（内他市町村応援出動１件）
救助出動　　０件

緊急時は、すぐに119番通報をしてください！

子育て支援センター「ぷっこ」だより

～☆★明るく元気な子にそだちますように☆★～

☎52-2315
子育て支援センター　☎090-5985-4339

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い申し上げます。
子育て支援センターは今年も親子が楽しんで通える場所となるように、色々な企画を用意していきたいと思っています。保護者同士、子ども同士の交流の場として、ぜひあそびに来てください。お待ちしております♪

☆ぷっこクラブ☆

「バルーン」音楽に合わせてバルーン遊びを楽しみました♪

☆０歳ぷっこ☆

「ベビーマッサージ」親子でベビーマッサージを通じて、親子のスキンシップを楽しみました♪

☆　茶　話　会　☆

「移動本だな」ＷＩＳＨさん主催でたくさんの絵本に触れ合うことができました♪

☆りんごの日☆

「リトミック」ピアノの音に合わせてたくさん身体を動かし、気持ちの良い汗をかきました。

保育所の元気な子どもたち

幾寅保育所

４月から１年生になるひまわり組15名は文字の練習を行っています。最初は戸惑う子もいましたが、今では全員意欲的に取り組んでいます。難しい文字もうまく書けるととてもうれしそうです。
卒園までたくさんの文字を覚えられるように頑張ります。

金山保育所

11月の製作は、お鍋を題材に作りました。
大きい子は、白菜、椎茸、人参などをハサミを使い自分で切り、小さい子は切ってある色画用紙にクレヨンで絵を描いたり、紙粘土の豆腐、毛糸のしらたきと一緒に盛り付けるなど、美味しそうに工夫して盛り付けていました。お鍋が美味しい季節ですね。

地　域　貢　献　活　動

10月25日、旭川建設管理部発注の「道道金山幾寅停車場線舗装構造改良工事」を施工している道路建設株式会社（代表取締役社長：宮﨑洋二）による地域貢献活動として金山コミュニティセンター駐車場の舗装補修を実施していただきました。

※町ではこのたびの地域貢献活動に対し感謝状を贈呈しました。

寄附・寄贈

次の方々から寄附・寄贈がありました。皆さんのご厚志に対し紙上をもって厚くお礼申し上げます。

南富良野町へ

○東京都　東映㈱様より東京都内で開催した「鉄道員」記念上映会の収益金の一部と会場募金を、ロケセットの維持費用に充てる寄贈として　三五四，五七一円

まちづくり応援寄附金として

○札幌市　保木本光洋様　一万円
○千葉県　大島　徹也様　一万円
○千葉県　箕輪　正美様　一万円
○東京都　澤村　詩織様　一万円
○東京都　林　大祐様　一万円
○神奈川県　内田　浩太様　一万円
○愛知県　皆川　修様　一万円
○和歌山県　田中紀理子様　一万円
○広島県　髙橋　務様　一万円
○福岡県　古賀　丈晴様　二万円

社会福祉協議会へ

○幾　寅　高橋二三雄様より故新沼キク様生前のご厚志に対するお礼として　十万円
○幾　寅　天谷信子様より故天谷一二様生前のご厚志に対するお礼として　三万円
○幾　寅　山内茂樹様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として　一万円
○幾　寅　髙橋正子様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として　一万円
○幾　寅　千葉秀夫様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として　一万円

一味園・からまつ園・こざくら園・ふくしあへ

○落　合　香川　瑛道　様
○幾　寅　磯野　信子　様
○幾　寅　熊坂　幸子　様
○幾　寅　坂井　要之助　様
○幾　寅　高橋　二三雄　様
○富良野市　後藤　節子　様
○富良野市　松本　三郎　様
○東川町　旭川福祉専門学校　様
○旭川市　旭川大学短期大学部　様
○旭川市　前川原　紀子　様
○本別町　新沼　良己雄　様
○浦幌町　国枝　幸雄　様
○札幌市　鎌田　栄治　様
○札幌市　吉岡　繁勝　様
○小樽市　前北　啓子　様

★お悔やみ申し上げます

幾寅　新沼　キク（98）
令和元年11月1日逝去

落合　土濃塚　榮治（81）
令和元年11月8日逝去

幾寅　安西　一也（81）
令和元年11月21日逝去

金山　伊井　幸一（83）
令和元年11月21日逝去

わたしたちのまち

（令和元年11月末日現在）

人口　2，438人（△10）
男　1，233人（△3）
女　1，205人（△7）
世帯数　1，345戸（△10）
（　）内は前月比

□発行／南富良野町役場　編集／企画課 広報統計係　Tel.52-2115
□ホームページアドレス http://www.town.minamifurano.hokkaido.jp

古紙配合率100パーセントの再生紙を使用しています。